

地域課題の解決策の発表

やすみっこ実行委員会チーム：工藤愛（南部町）・四戸美代子（南部町）・東澤（南部町）



【提言】みんなのあそびば

軽食&フリースペース「やすみっこ」

◆現状と課題

- ・雨の日、雪の日、子どものあそび場がない！
- ・既存の室内スペースは、日祝は休み。活動に時間がかかり親同士の交流がない。遊具ごとに年齢制限。コロナで町外の利用を断られることもある。
- ・行き場に困っているママたちがいる。

◆解決策を考える

～軽食&フリースペース「やすみっこ」のコンセプト～

- ・日曜日または祝日の開催を予定。
- ・子ども同士の関わりのあるあそびを設定しよう。
- ・親も子も、自由な時間を友だちと、めいっぱい。

◆実現にむけて

- ・プレオープンに向けて施設の使用料減免許可をいただき、使用料がかからず利用できた。
- ・雨や雪の日に施設を利用したい。そのためには7日前までの申請は少しむずかしい。
- ・おもちゃの搬入、撤去。プレオープンではメンバーが手持ちのおもちゃを持ち込んだ。可能であれば倉庫に保管できればかなり負担が少ない。
- ・プレオープンには八戸市、三戸町など南部町周辺の方が参加し、すでに次回開催の要望があり、楽しみに待っています。次回12月26日(日)に開催予定。



【感想】関係市町村の職員よりさまざまな感想が寄せられました。

◆出席者

南部町長 工藤祐直

南部町交流推進課／南部町健康こども課／南部町生活住民課／八戸市観光課／八戸市市民連携推進課
トータルコーディネーター 岩本ヤヨエ

- ・行政の手が届かなかったところ、今後無理なく継続していく仕組み作りが大切になると感じた。
- ・子育てをする中でみえてきた課題に取り組んでいた。実際にやってみて、また新しい課題が見えてきたというところ、その点がクリアになっていくことで子育て支援が充実すると感じました。

地域課題の解決策の発表

なべまる子ちゃんチーム：大村 素子(田子町)・工藤 海羽(五戸町)
古館 真美(八戸市)・武良 亜友美(南部町)

【提言】1000 pins project

◆現状と課題

移住者や観光客が、行きたい場所を検索するときに、頼りにするのがGoogleMap。そのマップの情報が充実していないことにより…。

- ・行きたいけど場所がわからない。
- ・お店が閉店していた。
- ・営業時間外だった。
- ・行きたいところに行けない！

◆解決策を考える

- ・自分たちで南部町に1000本のピンを立て、GoogleMap上に目じるしを立て、情報を掲載していこう。
- ・予算ゼロ！スマートフォンやパソコンで簡単にできる！



◆実現にむけて

- ・観光客は事前の情報収集、移住者はライフライン等の情報が役立つ。
- ・有名なお店や観光地はすでに掲載されているが、情報を新しいものに更新し信頼性を高める。地域に住む人だからできること。



- ・メンバーが無理せず楽しんで、ピンを立てたくなったときに立てる。
- ・1st ミッション、2021年12月ピン立てスタート。南部町の鍋の日、「フーフー」にかけて目標22本。まずはメンバー4人で5本ずつ。「#なべまる子ちゃん」をつけてSNSへ投稿。
- ・2月22日に22本目を立てる。その様子をプレスリリースし取材してもらい仲間を増やす。
- ・2nd ミッション、名久井岳の標高615mにちなんで615本。
- ・3rd ミッション、1000本！目標達成。

【感想】関係市町村の職員よりさまざまな感想が寄せられました。

◆出席者

南部町長 工藤祐直

南部町交流推進課／南部町健康こども課／南部町生活住民課／八戸市観光課／八戸市市民連携推進課
トータルコーディネーター 岩本ヤヨエ

- ・ピンが増えることで情報の更新が大変になりそうですが、世界中から情報を掲載でき、なべまる子ちゃんになれる点でクリアしていける。予算がかからず、南部町のファンが増えていく素晴らしい企画だと思います。
- ・今は店を探すにもネットで検索することが多い。自分もなべまる子ちゃんになって、23本目からは参加したい。

修了式・交流会

修了式

◆青森県環境生活部青少年・男女共同参画課 課長 小坂 秀滋（オンライン出席）

修了にあたり、青森県青少年・男女共同参画課の小坂課長から「地域の現状と課題を把握し、解決策を考えることに取り組んでいただきました。さまざまな課題に気づきながらも、マイナスのことばかりではなく、プラスに感じられるような発見もあったことと思います。なかでも講義を通して、皆さまから企画書が提出され、実際の活動へ移されたこと、とても頼もしく感じております。その一歩がそれぞれの地域の元気、そして青森の元気を生み出すことにもつながっていくことと思います。」と挨拶がありました。



◆南部町 工藤 祐直 町長

南部町工藤町長からは「発表会では受講生の皆さんが「地域問題の解決策を考える」をテーマに、2つの内容の充実した大変素晴らしい発表をいただきました。今回企画、立案していただいた経験は、今後の活動の成果につながっていくと考えています。各地域、各団体に戻られたあとも、この講座で学んだ知識を大いに活かしていただきまして、地域の先導役として活躍されますことを心からお祈りし、期待しております。」と期待を込めた挨拶をいただきました。



◆修了生代表 大村 素子

修了生代表の大村素子さんからは「全5回の講座は、本当に5回だったのかなと思うくらい、毎回とても内容が濃く、メンバーの皆さんとも深い交流ができました。講座を通して、楽しみながら人を巻き込んでいくこと、考えを聞くこと、聞いてもらうことで自分たちの引き出しをあげてもらい、この2チームのプロジェクトが形になり、とても実になる時間となりました。」と講座で学んだことを活かしつつ実際の活動へつなげていく力強い挨拶をいただきました。



交流会

交流会では、受講しての感想や今後の活動について話し、チームの枠を超えて、それぞれの活動を応援、参加していきたいと前向きな意見がありました。地域で活動するひとつのチームとして絆を深める時間となりました。

